

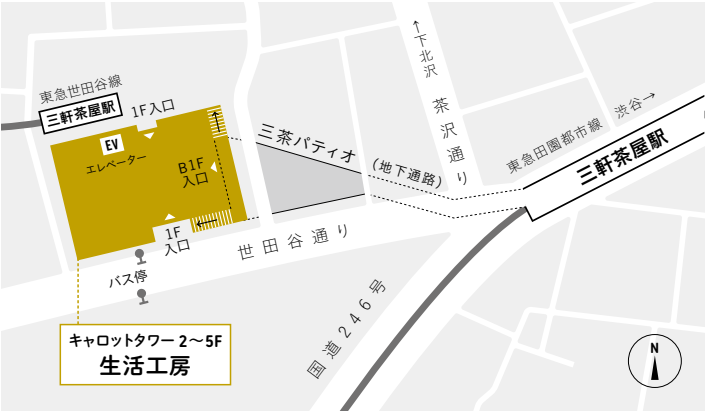
施設案内

5F	セミナールーム A・B 生活工房受付	音響・映像設備を備え、講習会や会議を行うことができます(定員48名)。A・Bの仕切りを外せば最大120名収容(机使用時は108名)。	 
4F	ワークショップルーム A・B	「A」はキッチンや調理器具などを備えた“ものづくり”スペース。「B」は可動パネルにより多様な展示に対応したスペース。	 
3F	生活工房ギャラリー 市民活動支援コーナー	生活や文化に関する様々なデザインを独自の視点で提案・発信する展示スペース。新たな発見が暮らしを彩ります。 世田谷で活動する市民活動団体のため、打合せや作業スペース、プリンタや印刷機などを備えています。	 
2F	八角堂	特設ジオラマを使って映像作品を上映。上映スケジュールはホームページでご確認下さい。(中面も参照して下さい)	

- トイレにはおむつ交換台があります。個室にチャイルドシートはありません。
- 5Fには授乳室、3Fの多目的トイレにはオストメイト用設備を備えています。

施設のご利用について 詳しくは生活工房ホームページをご覧ください。

アクセス

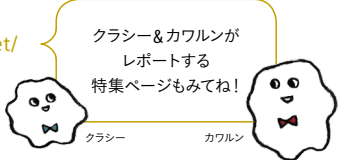


- 東急田園都市線「三軒茶屋」駅 三茶パティオ口徒歩5分
地下通路よりB1F入口に入り、キャロットタワー内のエレベーターをご利用ください。
- 東急世田谷線「三軒茶屋」駅 直結 ●東急・小田急バス「三軒茶屋」停留所そば

お問い合わせ

(公財) せたがや文化財団 世田谷文化生活情報センター 生活工房
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー
TEL 03-5432-1543 / FAX 03-5432-1559

website <http://www.setagaya-ldc.net/>
twitter @setagaya_ldc
facebook 生活工房



Design: Nakazo Katayama

日本人にとっての“赤い色”。
その魅力を紐解く



左：弁柄染芋麻糸 右：紅板染めの絹布

日本人の暮らしのなかでいきづく「赤」。
祝事や魔除けの意味も持ち、日本独自の伝統文化として美しさと豊かさを受け継いできました。

「赤」は、紅、朱、茜、緋、丹など染料によっても名称が異なります。多彩な表現からも、古来より四季の移ろいを感じ、自然の色合いを暮らしに取り入れてきた日本人の技と美意識が感じられます。一日が始まり太陽が明るい、夜になると暗い「明い→赤：暗い→黒」が色の語源という説があるほど。日本人は時間の流れでさえ色調と捉える豊かな色彩感覚を持っています。

「紅花」は、花卉から染料や口紅の素になる色素がとれることから、山形では江戸時代に「最上紅花」の栽培が盛んでした。より濃くて鮮やかな紅色のために、手間をかけて何度も重ね染めして仕立てました。桜色や紅梅など紅染による美しい色は殿上人の装束として、その艶やかさは庶民の憧れとなりました。女性の化粧に口紅がとりいれられるようになると、時代はぐっと華やかに変化します。このように、「赤」を調べていくと、その時代性や地域性からも興味深い発見に出会えます。

本展では日本の暮らしを彩る「赤」の魅力について、専門家の寄稿とともに、「赤」に込められた日本人の祈りや願いについて探究します。

EXHIBITION

※詳細は中面をご覧ください

眞田岳彦ディレクション／衣服・祝いのカタチ
赤をめぐる旅 展

4.5 (水) → 5.14 (日) 9:00～20:00 入場無料 会場：生活工房ギャラリー

ハワイ／ブラジル／日本に残る、
ニッポンのうた



「クレオール」という言葉をご存じでしょうか。もともとは植民地で生まれた白人のことを指していた言葉ですが、今では、より広義に混ざり合った文化や言葉に対しても用いられるようになりました。

“うたう旅人”として各地で活動する松田美緒さんのCDブック『クレオール・ニッポン』では、日本の豊かな多様性を捉えるために、肯定的にこの言葉をつかっています。2014年に発表された本作ですが、今でも版を重ね、多くの人々の共感を呼んでいます。

本展は、そんな日本の多様性を伝えている「うた」を紹介する展覧会です。ハワイやブラジルへ渡った日本人、長崎県伊王島に暮らしたキリシタン、徳島県祖谷の木びきさん。とくに注目すべきは、それらの記録を残すだけでなく、自らの声で歌いなおしていく点にあるでしょう。僻地での労働や祈りのなかで紡がれてきた「うた」は、松田さんの歌声を通して、まさに日本のクレオールな側面を鮮やかに伝えています。

また、「うた」に焦点を当てる一方で、その歴史的な背景や松田さんによるフィールドワークの記録も本展では紹介する予定です。数々の残された「うた」を通して、あらためて日本について考える機会となるでしょう。

EXHIBITION

クレオール・ニッポンの旅
—無名詩人の民謡から、ニッポンを聴く(仮)

6.17 (土) → 7.23 (日) 9:00～20:00 入場無料 会場：生活工房ギャラリー

みる×しる×つくる＝暮らしがかわる。



2017 イベントガイド
April
May
June

世田谷文化生活情報センター
生活工房
Lifestyle Design Center

眞田岳彦ディレクション／衣服・祝いのカタチ 赤をめぐる旅 展

4.5(水) → 5.14(日)

9:00～20:00 入場無料
会場：生活工房ギャラリー

「赤」に込められた日本人の願いを、染色、衣服をはじめとする生活に関わる領域から考察する企画展。



日本文化と赤の色 トークイベント

4.16(日) 14:00～16:00
会場：セミナールームA・B

暮らしに多彩な色合いを取り入れてきた日本人の技と美意識について、伝承される織物や糸布染めなどの視点からお話を伺います。

講師 中島洋一(古典織物研究家)、山崎和樹(草木染研究家)
進行 眞田岳彦(衣服造形家) 参加費 500円/40名(申込先着) 申込 電話かメールにて

世田谷アートフリマ vol.27

4.22(土) | 23(日)

11:00～17:00 入場無料
会場：セミナールームA・B
ワークショップルームA・B
市民活動支援コーナー



アートフリマ公式HP
<http://artfleama.net/>
※出展者募集は終了しています。

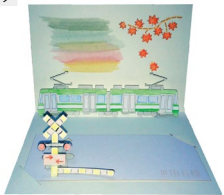
2日間で延べ160組のアーティストが集まる“ものづくりの祭典”。手作りの雑貨やアクセサリ、クラフト作品の販売やその場で体験できるワークショップも。お気に入りの探しに遊びにきてください！

① 紙工作で、世田谷の風景を作ろう！ ワークショップ

4.22(土) | 23(日) 11:00～17:00(途中休憩あり)

紙で切り抜かれた、世田谷の電車や風景に好きな色を塗って、ポップアップカードを作ります。

講師 紙風景かみちゃん 参加費 200円(材料費込)
定員 各日20名程度 対象 小学生以上
申込 当日会場にて随時受付



② 脳いきいきポストカードを作ろう！ ワークショップ

4.22(土) | 23(日) 11:00～17:00(途中休憩あり)

ポストカードサイズの用紙に、オイルパステルで色を塗ったり、指でこすったり、棒で引っかいたりして、自由に楽しい作品を作ります。

講師 池浦順子 参加費 500円(材料費込)
定員 各日20名程度 対象 小学生以上
申込 当日会場にて随時受付



③ シルクスクリーンでランチバッグを刷ろう！ ワークショップ

4.22(土) | 23(日) 11:00～17:00(途中休憩あり)

10種類のデザインと2色のインクから好きなものを選んで、ランチバッグにシルクスクリーンでプリントします。

講師 理想科学工業スタッフ 参加費 500円(材料費込)
定員 各日20名程度 対象 小学校4年生以上
申込 当日会場にて随時受付



DAYS JAPAN 写真展2017 地球の上に生きる 世界の未来をつくるために

5.20(土) → 6.11(日) 月曜休み

11:00～19:00(最終日は17:00まで) 入場無料
会場：生活工房ギャラリー
ワークショップルームB



「シリア・アレppo 瓦礫からの救出現場」
アミール・アルハビ

世界の厳しい現実と向き合います。フォトジャーナリズム月刊誌「DAYS JAPAN」主催による【第13回DAYS国際フォトジャーナリズム大賞】受賞作の写真展。

共催 (株) デイズジャパン 企画 (株) 世田谷社

※関連企画など、詳細は4月中旬にホームページでお知らせします。

第40回世田谷おはなしネットワーク講演会 おはなしおばさん 藤田浩子さんの世界

6.15(木) 14:00～16:00

会場：セミナールームA・B

藤田浩子さんは、幼児教育者としてまた語り手として、精力的な活動が続けてこられました。本講演会では、小道具を使ったおはなしや手遊びなど、実践を交えてわかりやすくお話いただきます。



講師：藤田浩子

講師 藤田浩子(幼児教育者) 主催 世田谷おはなしネットワーク
参加費 100円/20名(抽選) 申込 5月15日(必着)までに往復ハガキにて

クレオール・ニッポンの旅

—無名詩人の民謡から、ニッポンを聴く(仮)—

6.17(土) → 7.23(日)

9:00～20:00 入場無料
会場：生活工房ギャラリー

“うたう旅人”として国内外でフィールドワークとライブを重ねる松田美緒さんの活動をもとに、「うた」を通して、日本の多様性を知る展覧会です。



※関連企画など、詳細は5月上旬にホームページでお知らせします。

イシス編集学校×生活工房「情報編集力連続講座」 3日で編集力を身につける

6.17(土) | 24(土) | 7.9(日) 14:00～16:30 ※3回完結

会場：セミナールームA・B(6月17、24日)
イシス編集学校「本楼(世田谷区赤堤)」(7月9日)

昨年度好評だった「情報編集力連続講座」を軸に、情報を自分自身で収集しながら、文章を書く、本を読むといった「編集力」の向上を試みます。新しい見方や、思考方法をワークショップで体験します。



共催 イシス編集学校

※申込方法など、詳細は4月中旬にホームページでお知らせします。

映像のフィールドワーク・ラボ vol.1 「ひもをうむ」(仮)

7.1(土) | 15(土) ※予定

会場：ワークショップルームAまたはB

20世紀の映像百科事典「エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ」の映像群に生命の根源的な営みを学ぶワークショップシリーズの第1弾。さまざまな繊維から「ひも」を生み出す世界各地の映像を見ながら、その手法を試行錯誤する実験です。



「木製の小道具での網づくり」(中央ヨーロッパ 1966年)
©(公財)下中記念財団

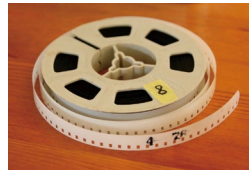
進行 下中菜穂(造形作家・もんきり研究家)、丹羽朋子(文化人類学者)
協力 (公財)下中記念財団

※詳細は5月中旬にホームページでお知らせします。

穴アーカイブ：an-archive

8ミリフィルムを探しています。

かつての町並みや暮らしぶりが記録された映像(8ミリフィルム)を、地域の公共財として公開・活用していくプロジェクト。フィルムをお持ちの方は、ぜひご提供ください。現在、とくに昭和30年代の映像を募集中。選別・デジタル化された映像は、DVDにして提供者に無料でお渡しします。



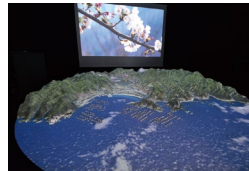
募集期間 7月15日(土)まで ※定員になり次第、受付を終了します。
企画制作 remo[NPO法人記録と表現とメディアのための組織] 申込 電話かメールにて

※詳細は4月下旬にホームページでお知らせします。

森・里・海の連環による豊かな海づくり 「レリーフジオラマ」上映会

入場無料
会場：キャロットタワー2F・八角堂

自然の営みと人の関わりを紹介する映像作品(約5分)を上映します。上映スケジュールや詳細はホームページをご覧ください。



朗読講座 豊かなことばの世界

暮らしを豊かにすることばの世界を「朗読」を通して楽しむ講座です。NHK日本語センターアナウンサーが、声の出し方、聞き手に伝えるための読み方を丁寧に指導します。

① 水曜講座(午前・午後) 〈名作を読む〉
4.5(水) | 12(水) | 26(水) | 5.10(水) 各回10:30～12:30/13:30～15:30
講師：岩井正(NHK日本語センター) 作品：芥川龍之介著「羅生門」

② 木曜講座(午後) 〈はじめての朗読〉
4.6(木) | 13(木) | 27(木) | 5.11(木) 各回13:30～15:30
講師：秋山隆(NHK日本語センター) 作品：森鷗外著「高瀬舟」

③ 金曜講座(午後) 〈はじめての朗読〉
4.7(金) | 14(金) | 28(金) | 5.12(金) 各回13:30～15:30
講師：金野正人(NHK日本語センター) 作品：小川未明著「二度と通らない旅人」

会場：セミナールームA
受講料(4回分)：一般20,500円、せたがやアーツカード会員18,500円/15名(申込先着)
問・申込：(一財)NHK放送研修センター
TEL 03-3415-7121(受付時間9:00～18:00) HP <http://www.nhk-cti.jp/>



ワークショップ／セミナーの申込方法

●電話 03-5432-1543 ●往復ハガキ／メール[希望イベント名・希望日・住所・氏名・年齢(学生は学校名・学年も)・電話番号を明記の上、下記宛先まで]
ハガキ：154-0004 世田谷区太子堂4-1-1キャロットタワー 生活工房
メール：info@setagaya-ldc.net(件名に希望イベント名を明記)